

商店街マネージャーを活用した 総合的な街づくり

松山大街道商店街振興組合（愛媛県松山市）

松山中央商店街の位置



松山中央商店街の概要

- ・ 松山市は人口**47万人**の四国最大の都市
- ・ **4つ**の商店街が全体で約**1キロメートル**に渡る**L字型**のアーケードでつながっている。
- ・ 通称**1丁目**の松山大街道商店街は、大街道の北側に位置し、城北の大学や高校が近く、三越やラフォーレなど、松山のファッションをリードする店舗が立ち並ぶ若者の街。
- ・ 通称**2丁目**の大街道中央商店街は、買い回り品を中心とした、長さ**170メートル**の商店街。婦人服、バックなどの専門店が**6割強**を占める一方、カラオケや映画館などの**娯楽・レジャー施設**が充実している。

松山中央商店街の概要（つづき）

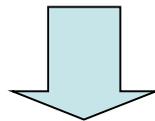
- ・ 3丁目にあたる銀天街第一商店街は、年間を通じて、児童向けの展示会を開催するなど、地域密着化への取り組みを盛んに行っている。
- ・ 4丁目の銀天街第二商店街は、銀天街の西側に位置し、松山市駅前広場に面した、松山中央商店街の玄関口の役割を果たしている。
- ・ ホームページの開設や、アーケード内のテレビモニターの設置など、商店街の情報化にも積極的に取り組んでいる。

事業概要

- ・これまで4つの商店街は互いに競争、切磋琢磨してきた。
しかし、99年に松山サティが撤退、次いでダイエーも撤退し、空き店舗が増加。また、パチンコ店、カラオケ店が増加し、婦人服店が減少、業種構成の変化やテナント店の増加といった著しい環境変化に直面。
- ・そこで、4商店街振興組合を1つの事業体と見立てた、総合的なまちづくりを行う必要性から、マネジメント対策事業に取り組んだ。

松山大街道商店街振興組合 理事長 日野 二郎氏へのインタビュー

Q. マネジメント対策事業を活用するに至った経緯について



- 中心市街地活性化は単一の組合で取り組むのは無理。
- 4つの商店街全体をマネジメントする必要性を感じた。

Q. 事業の運営に当たって

<組織体制>

マネジメント事業推進委員会



理事長会、理事会、総務委員会



4つの商店街の方々による販促委員会

消費者の方々による各種委員会

- 百貨店勤務経験者を商店街マネージャー

松山中央商店街連合会 事務局長 商店街マネージャー 森 忠士氏へのインタビュー

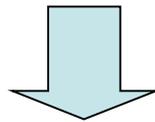
Q. 商店街マネージャーとしての事業への取り組み
→ まず組織体制の整備。各種委員会を組織して
4つの商店街の方向性を合わせる。

Q. 地域社会との連携について
→ 地域住民、学生、NPOといった各種団体と連携し、
地域社会における商店街の役割を見直してゆく。

商店街マネージャー 森 忠士氏へのインタビュー（つづき）

- ・ N P O 日本ガーディアンエンジェルスによる松山パトロール

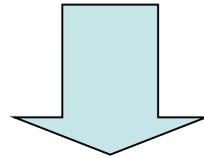
安心・安全な街づくり



商売の繁栄

Q. 個店支援事業について

- 店舗のブラッシュアップ作戦



中小企業診断士による個店へのヒアリング調査から開始。
10店舗のモデル店舗を選定して実施。

Q. 総合案内所について

- ・ 国のコミュニティ事業活用事業を利用して開設。
- ・ お客様への情報発信、お客様からの情報受信の場であり、お客様との交流の場として有効。

Q. その他

- ・ 学生の提案による各種イベントの実施など

店主たちの感想

- イベント等の実施で来街者、来店客が増えた。
- 店主たちに共同意識、仲間意識が高まった。
- 個店の発展が商店街の繁栄につながるので、個店支援が重要。
- 店主たちの意見交換の場が増え、意識改革に役立っている。

関連URL

- 松山中央商店街
(<http://town.ehime-iinet.or.jp/>)
- 松山銀天街商店街振興組合
(<http://www.gintengai.or.jp/>)